## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年5月14日

東

上 場 会 社 名 群栄化学工業株式会社 上場取引所 URL https://www.gunei-chemical.co.jp

代表者(役職名)代表取締役社長執行役員(氏名)有田喜一郎

問合せ先責任者 (役職名)取締役 執行役員コーポレート本部長 (氏名)丸山 克浩 (TEL)027-353-1810

定時株主総会開催予定日 2024年6月21日 配当支払開始予定日 2024年6月24日

有価証券報告書提出予定日 2024年 6 月21日 決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算補足説明資料作成の有無 : 有 決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

(%表示は対前期増減率)

### 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

# 1. 2024年3月新の建紀末頃(2023年4月1日~2024年3月31日 (1)連結経営成績

	売上高		営業利益	益	経常利益	益	親会社株主に 当期純利	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	30, 310	△3.4	2, 729	64. 4	3, 162	63.0	2, 040	69.9
2023年3月期	31 390	6.7	1 659	∧33 3	1 939	∧31 1	1 201	∧37 7

| 2023年3月期 | 31,390| 6.7| 1,659| △33.3| 1,939| △31.1| 1,201| △37.7| (注) 包括利益 | 2024年3月期 4,856 百万円(164.2%) | 2023年3月期 1,838 百万円( 0.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2024年3月期	307. 83	_	4. 4	5. 5	9. 0
2023年3月期	181. 26	-	2. 7	3. 6	5. 3

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 - 百万円 2023年3月期 - 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2024年3月期	61, 010	50, 281	79. 5	7, 320. 51
2023年3月期	54, 600	46, 107	81. 6	6, 723. 36
(参考) 自己資本	20	024年3月期 48,530百	万円 2023年3月	期 44,560百万円

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	3, 638	△2, 162	△774	8, 613
2023年3月期	1, 200	△2, 465	△687	7, 752

### 2. 配当の状況

- : HO - * * * * * * * * * * * * * * * * * *									
	年間配当金						配当金総額	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期	非	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	(合計)	(連結)	(連結)
	円	銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期		_	45. 00	_	45. 00	90.00	596	49. 7	1. 4
2024年3月期		_	45. 00	_	55. 00	100.00	662	32. 5	1.4
2025年3月期(予想)		_	50.00	_	50.00	100.00		41.4	

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

#### (%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	(水気がは、遮冽は内間が、口下のは内間下の間が下									
	売上	高	営業	利益	経常	利益	親会社株 する当期		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	15, 000	△4.0	1, 000	△37.8	1, 100	△40.1	700	△44. 9	105.	59
通期	31, 000	2. 3	2, 100	△23. 1	2, 300	△27.3	1, 600	△21.6	241.	35

## ※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ② ①以外の会計方針の変更 ③ 会計上の見積りの変更 ④ 修正再表示

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

2024年3月期	8, 998, 308 株	2023年3月期	8, 998, 308 株
2024年3月期	2, 368, 906 株	2023年3月期	2, 370, 650 株
2024年3月期	6, 629, 004 株	2023年3月期	6, 627, 884 株

## (参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

## (1)個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高	i	営業利	益	経常利:	益	当期純利	J益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	25, 376	△3.9	2, 294	22. 1	2, 834	24. 1	1, 857	28. 0
2023年3月期	26, 413	5. 3	1, 879	△24.5	2, 284	△21.7	1, 451	△28. 0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	280. 20	_
2023年3月期	218. 95	_

#### (2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2024年3月期	55, 509	46, 592	83. 9	7, 028. 15
2023年3月期	50, 175	43, 107	85. 9	6, 504. 16
(参考) 自己資本	Z	2024年3月期 46,592	百万円 2023年3	3月期 43,107百万円

## ※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判 断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等 は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての 注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績等の概況」をご覧ください。

# ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況
(1)当期の経営成績の概況
(2) 当期の財政状態の概況
(3)当期のキャッシュ・フローの概況
(4) 今後の見通し
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方
3. 連結財務諸表及び主な注記
(1)連結貸借対照表4
(2)連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(3)連結株主資本等変動計算書8
(4)連結キャッシュ・フロー計算書
(5)連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
(セグメント情報等)
(1株当たり情報)
(重要な後発事象)

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染対策の緩和で回復基調にあったものの、世界的な金融引き締めに伴う減速感の強まりや中国経済の低迷、長期化するウクライナ情勢やイスラエル・パレスチナ情勢の悪化に伴う地政学的リスクの高まり等予断を許さない状況となりました。

わが国経済におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行し、訪日外国人の増加や堅調な個人消費により緩やかな回復基調にあるものの、各国との金利政策の違い等による大幅な円安及び資源価格の高止まりによる消費者物価の上昇や外需下振れに伴う生産調整が続いている状況で推移しました。

先行きに関しましては、不安定な国際情勢や原材料・エネルギー価格の高騰、中国経済の停滞、為替変動等の影響が継続することが懸念されます。

このような状況のもと、当社グループの売上高は、前年比3.4%減少の30,310百万円となりました。利益面では、営業利益は前年比64.4%増加の2,729百万円、経常利益は前年比63.0%増加の3,162百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は食品事業製造設備の減損損失199百万円を特別損失に計上しましたが、前年比69.9%増加の2,040百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### [化学品事業]

化学品事業においては、前年度と比較し、環境関連向け高機能繊維は溶剤回収用途等が堅調に推移しました。自動車関連向け樹脂は需要の回復に伴い回復基調で推移したものの国内一部自動車メーカーの生産停止の影響を受けました。電子材料関連向け樹脂はスマートフォンなどのメモリ需要低迷により、工作機械向け樹脂は中国の景気低迷による影響を受けそれぞれ低調に推移しました。以上の結果、売上高は前年比3.3%減少の24,796百万円となりました。利益面では、電子材料向け樹脂が低迷したものの原材料価格等高騰分の価格是正と経費等削減によりセグメント利益(営業利益)は前年比48.8%増加の2,563百万円となりました。

#### [食品事業]

食品事業においては、行動制限の緩和による経済活動の活発化の影響により外食産業を始めとする業務用需要やインバウンド需要により回復傾向となりましたが、商品構成を見直ししたことにより販売数量が減少し、売上高は前年比4.2%減少の5,265百万円となりました。利益面は、原材料価格等高騰分の価格是正を行った結果、前年に比べ220百万円改善し9百万円のセグメント利益(営業利益)となりました。

#### 「不動産活用業]

不動産活用業においては、ほぼ前年並みで推移した結果、売上高は前年比0.6%増加の247百万円、セグメント利益(営業利益)は前年比5.2%増加の156百万円となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度における資産合計は前連結会計年度末と比べ6,409百万円増加し、61,010百万円となりました。これは、設備投資による有形固定資産の増加及び保有株式の時価上昇により投資有価証券が増加したことによるものです

負債合計は前連結会計年度末と比べ2,236百万円増加し、10,729百万円となりました。これは、設備投資に伴う設備関係未払金が増加したことによるものです。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ4,173百万円増加し、50,281百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益を計上したこと及び投資有価証券の時価上昇によりその他有価証券評価差額金が増加したことによるものです。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度に比べ860百万円増加し8,613百万円となりました。なお、当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況と主な内訳は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,638百万円の収入と前連結会計年度に比べ2,437百万円の収入の増加となりました(前連結会計年度1,200百万円の収入)。これは主に、税金等調整前当期純利益の増加によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,162百万円の支出と前連結会計年度に比べ302百万円の支出の減少となりました(前連結会計年度2,465百万円の支出)。これは主に、有価証券の取得による支出の減少によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、774百万円の支出と前連結会計年度に比べ87百万円の支出の増加となりました(前連結会計年度687百万円の支出)。これは主に、配当金の支払額増加とリース債務の返済による支出増加によるものです。

### (4) 今後の見通し

#### ①今後の見通し

当社グループは、高純度・先端材料、環境対応ケミカル、高機能糖ケミカル、経営基盤強化を目指すべき方向性として掲げ、注力分野への積極投資および社会課題解決に貢献する高付加価値製品開発を強化し、事業ポートフォリオ変革を加速することにより"Green Chemical Industry"へ進化してまいります。

2025年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高は当期比2.3%増加の31,000百万円、営業利益は当期比23.1%減少の2,100百万円、経常利益は当期比27.3%減少の2,300百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は当期比21.6%減少の1,600百万円を見込んでおります。

なお、今後の状況により、修正が必要となった場合には速やかに修正開示させて頂きます。

#### ②利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要施策のひとつとして位置付けております。資本コストを意識し、財務体質を強化と事業の継続的な成長を図り、業績に裏付けされた成果の配分を株主の皆様に行うことを基本方針とし、1株当たりの配当の向上に努め、配当性向40%を目安に安定的な配当を目指してまいります。内部留保資金につきましては、将来における株主の皆様の利益拡大のために新規事業及び成長する事業分野に投入してまいります。

当期の配当につきまして1株当たり45円の中間配当を実施し、期末配当につきましては1株当たり55円とすることを予定しております。

また、次期の配当につきましては、現時点において、年間配当100円を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

# 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

		(単位:百万円
	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7, 760	8, 63
受取手形及び売掛金	7, 580	7, 36
電子記録債権	1, 128	1, 33
有価証券	1,500	93
商品及び製品	2, 735	2, 6
仕掛品	901	92
原材料及び貯蔵品	2, 151	2, 30
その他	219	22
貸倒引当金	$\triangle 0$	Δ
流動資産合計	23, 977	24, 3
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23, 201	23, 5
減価償却累計額及び減損損失累計額	△17, 292	△17, 6
	5, 908	5, 9
	34, 063	34, 9
減価償却累計額及び減損損失累計額	△31, 079	△32, 0
機械装置及び運搬具(純額)	2, 984	2, 9
土地	7, 971	7, 9
リース資産	841	9
減価償却累計額及び減損損失累計額	△161	$\triangle 2$
	679	7
建設仮勘定	1, 095	2, 5
その他	3, 184	3, 3
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,820	$\triangle 2, 9$
その他(純額)	364	3
有形固定資産合計	19, 004	20, 4
無形固定資産	21,112	, -
のれん	37	
その他	81	1
無形固定資産合計	118	1
投資その他の資産		
投資有価証券	10, 340	14, 3
退職給付に係る資産	-	3
繰延税金資産	71	
その他	1, 175	1, 4
貸倒引当金	∆87	
	11, 500	16, 0
固定資産合計	30, 623	36, 6
資産合計	54, 600	61, 0

())/////				
(単位	百	Ŧ	ш	١

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4, 470	4, 306
未払金	1, 386	2, 606
未払法人税等	134	395
賞与引当金	398	386
その他	165	219
流動負債合計	6, 554	7, 914
固定負債		
リース債務	662	690
繰延税金負債	449	1, 559
環境対策引当金	5	5
固定資産撤去引当金	22	22
退職給付に係る負債	361	99
その他	436	437
固定負債合計	1, 938	2, 814
負債合計	8, 493	10, 729
純資産の部		
株主資本		
資本金	5, 000	5,000
資本剰余金	25, 647	25, 647
利益剰余金	17, 969	19, 413
自己株式	△6, 229	△6, 225
株主資本合計	42, 386	43, 835
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1, 759	3, 979
為替換算調整勘定	319	555
退職給付に係る調整累計額	94	160
その他の包括利益累計額合計	2, 173	4, 695
非支配株主持分	1, 547	1, 750
純資産合計	46, 107	50, 281
負債純資産合計	54, 600	61, 010

# (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 連結損益計算書

		(単位:百万円)_
	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	31, 390	30, 310
売上原価	25, 483	23, 432
売上総利益	5, 907	6, 877
販売費及び一般管理費	4, 247	4, 148
営業利益	1, 659	2, 729
営業外収益		
受取利息	48	82
受取配当金	165	191
為替差益	23	74
その他	58	107
営業外収益合計	295	456
営業外費用		
支払利息	12	13
その他	2	10
営業外費用合計	15	24
経常利益	1, 939	3, 162
特別利益		
訴訟関連収入	_	100
その他	0	3
特別利益合計	0	104
特別損失		
固定資産処分損	93	83
減損損失	202	199
その他	_	19
告诉我们的一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个	295	303
税金等調整前当期純利益	1, 644	2, 962
法人税、住民税及び事業税	399	558
法人税等調整額	98	212
法人税等合計	497	770
当期純利益	1, 146	2, 192
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△54	151
親会社株主に帰属する当期純利益	1, 201	2, 040

## 連結包括利益計算書

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	1, 146	2, 192
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	256	2, 220
為替換算調整勘定	384	377
退職給付に係る調整額	50	65
その他の包括利益合計	691	2, 663
包括利益	1,838	4, 856
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,748	4, 562
非支配株主に係る包括利益	89	293

# (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

			株主資本		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,000	25, 690	17, 331	△6, 228	41, 793
当期変動額					
剰余金の配当			△563		△563
親会社株主に帰属する当期純利益			1, 201		1, 201
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		$\triangle 0$		0	0
連結子会社の増資に よる持分の増減		△43			△43
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)					
当期変動額合計	_	△43	637	△1	593
当期末残高	5,000	25, 647	17, 969	△6, 229	42, 386

	その他の包括利益累計額			
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	非支配株主持分
当期首残高	1,500	81	44	1, 480
当期変動額				
剰余金の配当				
親会社株主に帰属する当期純利益				
自己株式の取得				
自己株式の処分				
連結子会社の増資に よる持分の増減				
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)	258	238	50	66
当期変動額合計	258	238	50	66
当期末残高	1,759	319	94	1, 547

# 当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

			株主資本		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,000	25, 647	17, 969	△6, 229	42, 386
当期変動額					
剰余金の配当			△596		△596
親会社株主に帰属する当期純利益			2,040		2, 040
自己株式の取得				$\triangle 2$	$\triangle 2$
自己株式の処分		△0		6	6
連結子会社の増資に よる持分の増減					-
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)					
当期変動額合計	1	△0	1, 444	4	1, 448
当期末残高	5, 000	25, 647	19, 413	△6, 225	43, 835

	頁			
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	非支配株主持分
当期首残高	1,759	319	94	1, 547
当期変動額				
剰余金の配当				
親会社株主に帰属する当期純利益				
自己株式の取得				
自己株式の処分				
連結子会社の増資に よる持分の増減				
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)	2, 220	235	65	203
当期変動額合計	2, 220	235	65	203
当期末残高	3, 979	555	160	1, 750

# (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	前連結会計年度	(単位:百万円) 当連結会計年度
	(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1, 644	2, 962
減価償却費	1,605	1,604
減損損失	202	199
のれん償却額	148	37
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△608	△269
受取利息及び受取配当金	△213	△274
支払利息	12	13
売上債権の増減額(△は増加)	23	97
棚卸資産の増減額(△は増加)	△992	△11
仕入債務の増減額(△は減少)	△381	△203
その他	222	△454
小計	1,661	3, 701
利息及び配当金の受取額	210	259
利息の支払額	$\triangle 12$	△13
法人税等の支払額	△658	△308
営業活動によるキャッシュ・フロー	1, 200	3, 638
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△99	-
有価証券の取得による支出	$\triangle 1,200$	△469
有価証券の償還による収入	1,700	1, 369
有形固定資産の取得による支出	△1,733	△1,817
投資有価証券の取得による支出	△2, 002	$\triangle 1,904$
投資有価証券の売却及び償還による収入	900	750
その他	△29	△91
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2, 465	$\triangle 2, 162$
財務活動によるキャッシュ・フロー		
非支配株主からの払込みによる収入	21	-
自己株式の純増減額(△は増加)	$\triangle 1$	$\triangle 2$
配当金の支払額	△561	△596
非支配株主への配当金の支払額	△87	△90
リース債務の返済による支出	△58	△85
財務活動によるキャッシュ・フロー	△687	△774
現金及び現金同等物に係る換算差額	124	159
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1, 826	860
現金及び現金同等物の期首残高	9, 579	7, 752
現金及び現金同等物の期末残高	7, 752	8, 613

### (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

### (セグメント情報等)

#### 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別の製造販売体制を置き、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、製造販売体制を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「化学品事業」、「食品事業」及び「不動産活用業」の3つのセグメントを報告セグメントとしております。

「化学品事業」は、工業用フェノール樹脂及び高機能繊維等を製造販売しております。「食品事業」は異性化糖及び穀物シロップ等を製造販売しております。「不動産活用業」は当社の保有する土地や建物等不動産の賃貸を行っております。

- 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法 報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね 同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。
- 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報 前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

						T
		報告セク	ゲメント		细軟瘤	<b>∧</b> ∌1.
	化学品事業	食品事業	不動産活用業	計	調整額	合計
売上高						
外部顧客への売上高	25, 645	5, 499	246	31, 390	_	31, 390
セグメント間の内部 売上高又は振替高	_	_	_	_	_	_
計	25, 645	5, 499	246	31, 390	_	31, 390
セグメント利益又は損失(△)	1, 722	△211	148	1, 659	_	1, 659
セグメント資産	34, 049	3, 593	1, 955	39, 598	15, 002	54, 600
その他の項目						
減価償却費	1, 507	57	40	1,605	_	1, 605
のれんの償却額	148	_	_	148	_	148
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1, 257	135	23	1, 416	_	1, 416

- (注) 1 セグメント資産の調整額15,002百万円は、当社での余資運用資金(現金及び有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。
  - 2 セグメント利益又は損失 ( $\triangle$ ) の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

						1 1 · H / • 1 4/
		報告セク	ゲメント		细胞发	<b>∧</b> ∌I.
	化学品事業	食品事業	不動産活用業	計	調整額	合計
売上高						
外部顧客への売上高	24, 796	5, 265	247	30, 310	_	30, 310
セグメント間の内部 売上高又は振替高	_	_	_	_	_	_
計	24, 796	5, 265	247	30, 310	_	30, 310
セグメント利益	2, 563	9	156	2, 729	_	2, 729
セグメント資産	34, 583	3, 453	1, 916	39, 953	21, 057	61, 010
その他の項目						
減価償却費	1, 520	41	41	1,604	_	1, 604
のれんの償却額	37	_	_	37	_	37
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2, 953	241	3	3, 198	_	3, 198

- (注) 1 セグメント資産の調整額21,057百万円は、当社での余資運用資金(現金及び有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。
  - 2 セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	6, 723. 36 円	7, 320. 51 円
1株当たり当期純利益金額	181.26 円	307.83 円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。
  - 2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1, 201	2, 040
普通株主に帰属しない金額(百万円)	_	_
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	1, 201	2, 040
普通株式の期中平均株式数(株)	6, 627, 884	6, 629, 004

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。